札幌・東京で「ふるさと会」開催
～懐かしいふるさとを想う～

札幌近郊の本町出身者で構成される「札幌上ノ国ふるさと会」（福島久平会長）が3月22日に、関東近郊の本町出身者で構成される「東京かみのくに会」（倉谷久会長）が3月29日にそれぞれ開催され、多く方が参加しました。

札幌上ノ国ふるさと会では、出身地区ごとにテーブルが設けられ、学校での想い出やお世話になった人の話などで盛り上がり、最後には童謡「ふるさと」を全員で歌って別れを惜しみました。

また、東京かみのくに会でも昔の想い出が話し合われたほか、図書購入費用として10万円の寄贈が決定され、懇親会では上ノ国の風景などを映したスライド上映や皆で踊る恒例の上ノ国音頭が行われるなど、どちらも故郷への想いが伝わってくる温かい雰囲気でした。

また、それぞれの会場では、本町特産品の物品販売も行われ、「赤カブ」や「かたこもち」など、幼いころに食べた懐かしい味を求める方々で賑わっていました。

札幌かみのくにふるさと会

東京かみのくに会

スピードを出さないで！

4月10日、上ノ国保育所の園児たちが上ノ国小学校前の沿道にて、交通安全を呼びかける旗振り活動を行いました。

春の交通安全運動期間に合わせて行われたこの取り組みでは、園児達が交通安全の旗を手に「ゆっくりね～」と通行する車に向かって呼びかけました。

春は子ども達やお年寄りが屋外に出る機会が増えるとともに、雪が解けたことでスピードを出す車も目立つことから、事故が発生しやすい季節でもあります。

ドライバーの方々は、特に注意して運転するように心がけましょう。

夷王山に風車回る

4月17日、上ノ国ウィンドファームの完成を祝う竣工式が、夷王山夜明けの塔前にて行われました。

完成した12基の風車は、約2万世帯分の消費電力に相当する2万8千キロワットの電力が出力され、風の強い上ノ国町に適した自然エネルギーとして期待されています。

竣工式には約60人の関係者が参加され、その後の祝賀会ではこれまで風車建設に携わった方々が、その完成を祝いました。